



貴重書

舞

文政十戌子春新版

紅印

江本木西新  
戸材町宮六行

特  
198

国  
2  
58 4



国文

24L

43

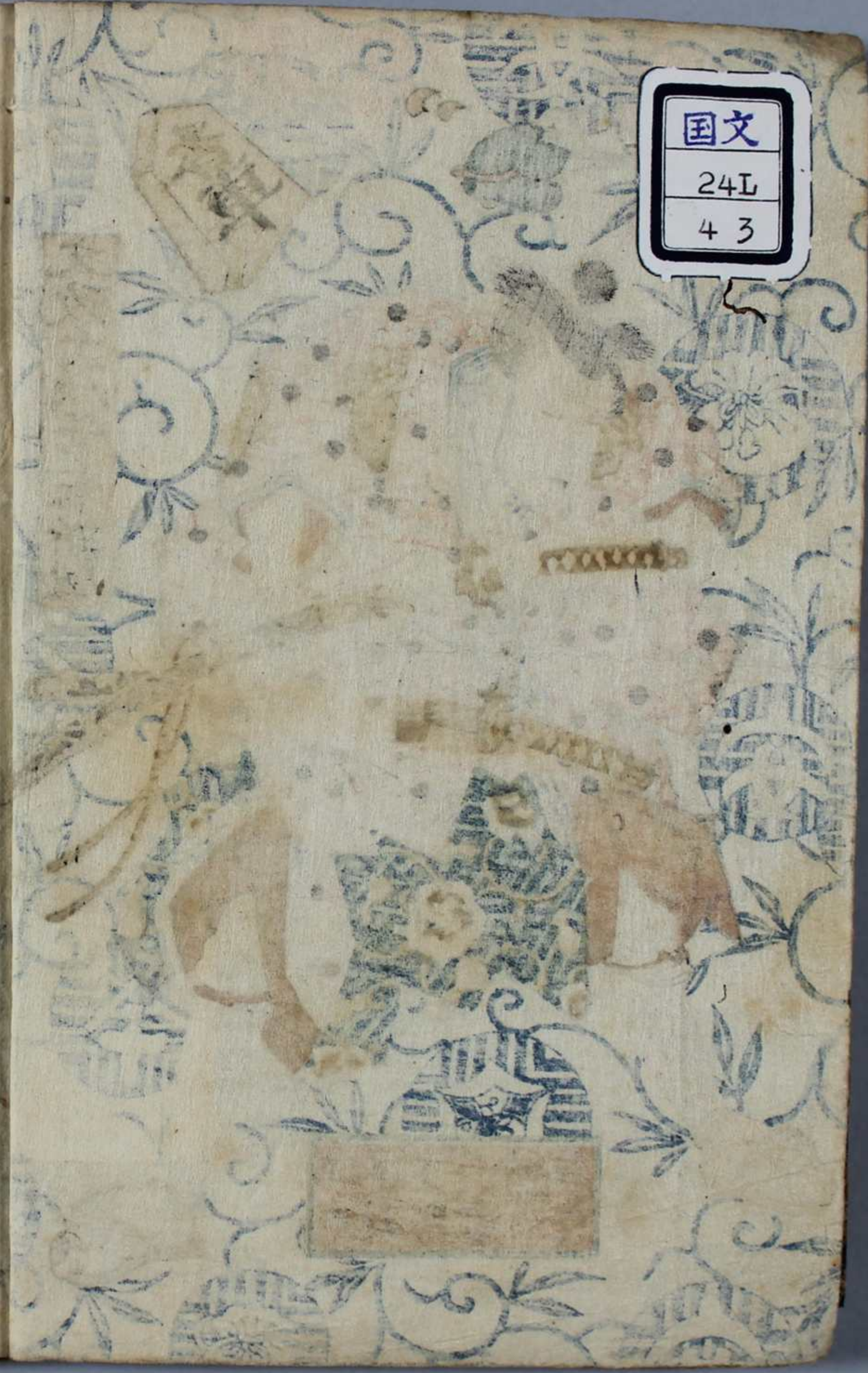
此編重刻  
與本館無涉

全清六卷

留學英法德日各國  
金鑑五十年之精華

附錄  
文苑十一卷

此本係全清六卷  
與本館無涉





7806531

岩井紫若速  
北尾重政画

全部六卷

雷庄大夫 狂言棒五段盡

文政十一年戊子春  
新刻繪草帑茨市

江戸本材木町二丁目  
地本並義大夫 正本問屋  
春寮軒西宮新六版

書肆春寮軒の主人早に一部乃草稿と  
著しと云ふ元より經智の僕れ其意と  
恥せられ太偏にさうく大駭のそまられ後此方々校正と云捨歸ら  
今更にもんと詮方余良し京録看時代小毫深何でも二十文合自笑其  
積り名作と抗の如と見るとら寝耳通不雁の声あつと目覺て思ひらく倍力小  
有今津瑞瑞本五ツ雁金出入の羨其名ととらかりの文字及古れ裏薄墨  
も者官方の御員具で評判か板えも誠小本の出入れとと宝の紛失具  
婦の意氣地是も久し敷足るうの人の社に漆直とと  
見られとも行文揃の案の著速ヤット仕立一六冊物  
兼字掛と賣賣つら御通して  
下さつと彼組屋の文句に  
のりがらく抑と猿れ面目も  
わびのあまき

岩井紫若速

夷福亭主人  
校正

文政十丁亥仲秋初雁の渡り頃草稿成  
同十一年戊子早春並版







洞家士  
仙五印  
右衛門

六樹園翁

安達家老臣  
鳴神庄大夫

安達家  
長臣  
雁金  
文七郎



火  
あ  
う  
れ  
あ  
ん  
地  
来  
る

同家臣  
布袋市之進

同家中  
安野  
平内





五條屋













あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...



あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...

あつては...  
あつては...  
あつては...













あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり  
あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり  
あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり

あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり  
あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり

五ノ御座



あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり  
あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり

あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり  
あまのこゝろに仙と云ふ人の八事内と  
上より下へも全てもあらはれり  
まはれり





五ツ

九



此の巻は... 五ノ巻の... 此の巻は... 五ノ巻の...



此の巻は... 五ノ巻の... 此の巻は... 五ノ巻の...



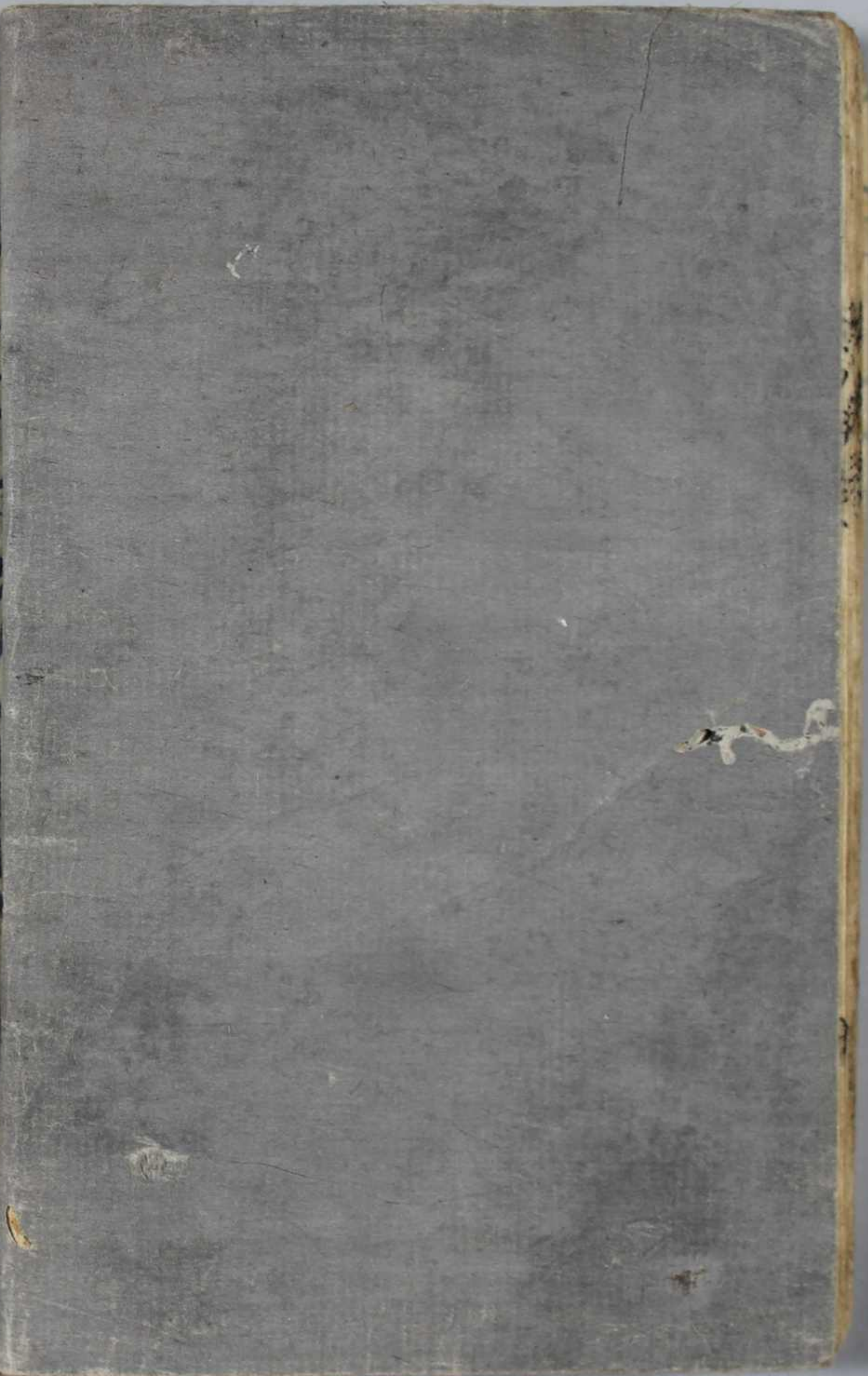






岩井紫若作  
北尾重政画

中















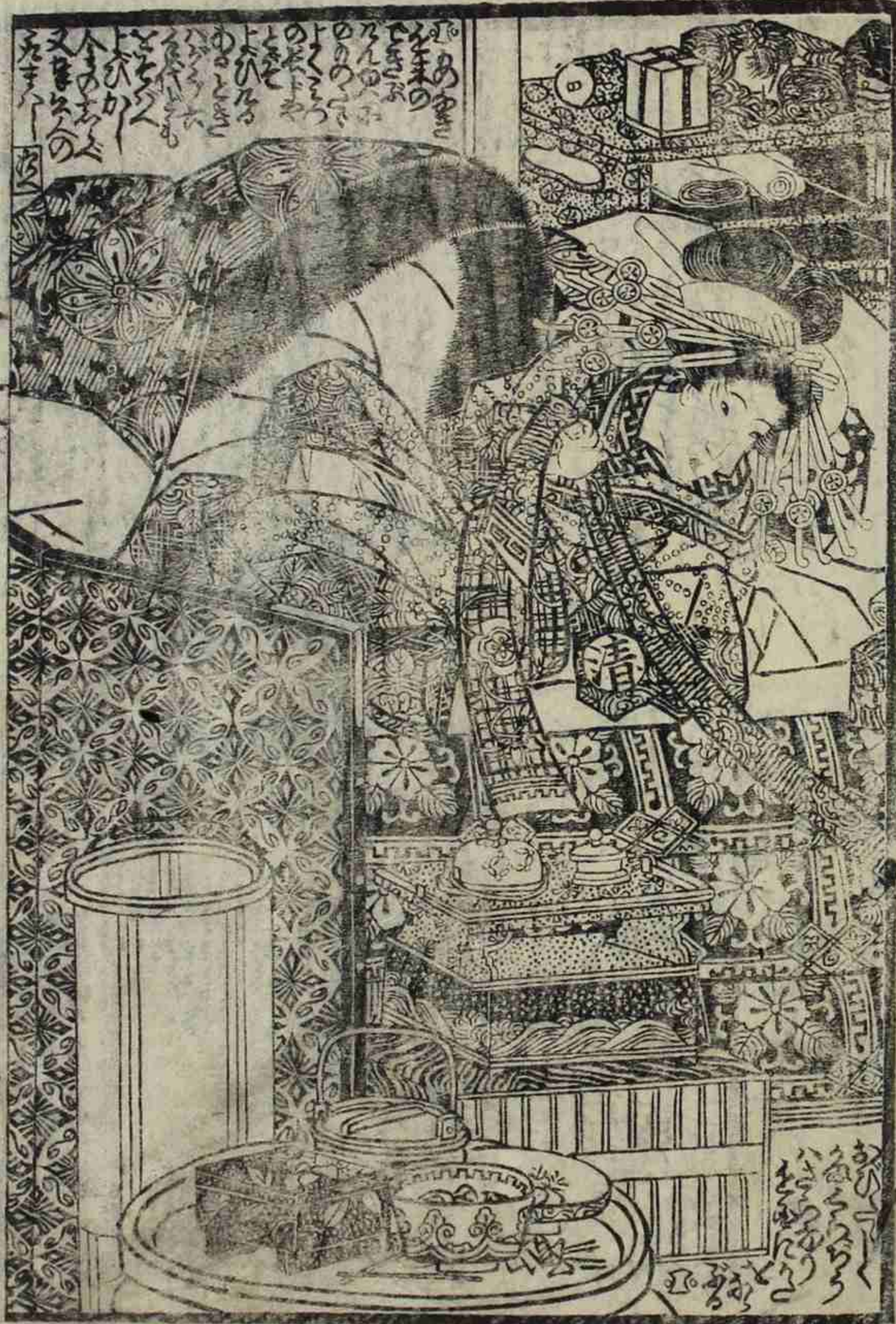










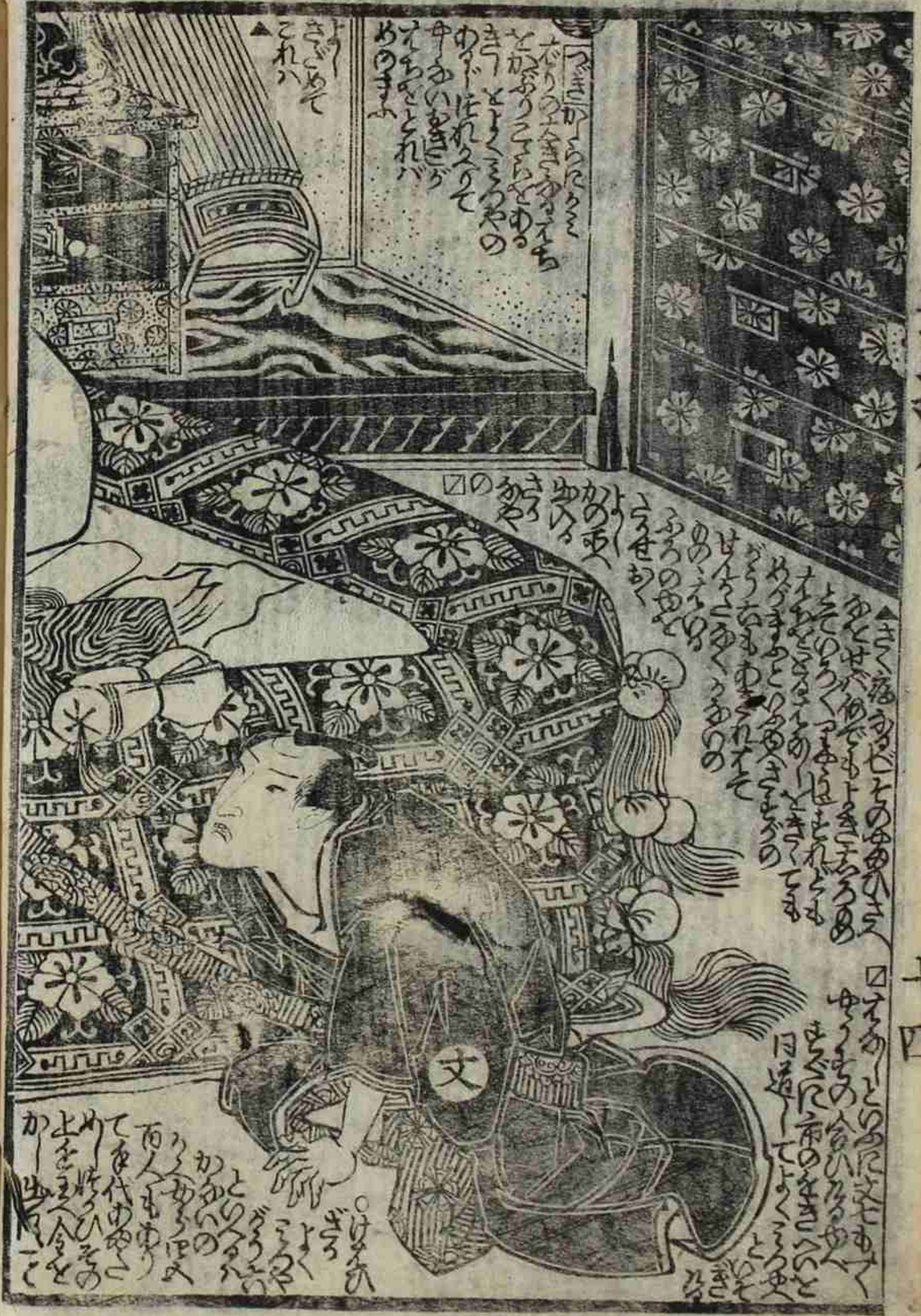


五  
ツ  
文  
子

十五

このあまの  
こころの  
なつかし  
きもの  
のよさを  
かたじけ  
なく  
おもひ  
ます

かたじけなく  
おもひます  
このあまの  
こころの  
なつかし  
きもの  
のよさを



五  
ツ  
文  
子

十四

このあまの  
こころの  
なつかし  
きもの  
のよさを  
かたじけ  
なく  
おもひ  
ます

かたじけなく  
おもひます  
このあまの  
こころの  
なつかし  
きもの  
のよさを

このあまの  
こころの  
なつかし  
きもの  
のよさを  
かたじけ  
なく  
おもひ  
ます

かたじけなく  
おもひます  
このあまの  
こころの  
なつかし  
きもの  
のよさを



















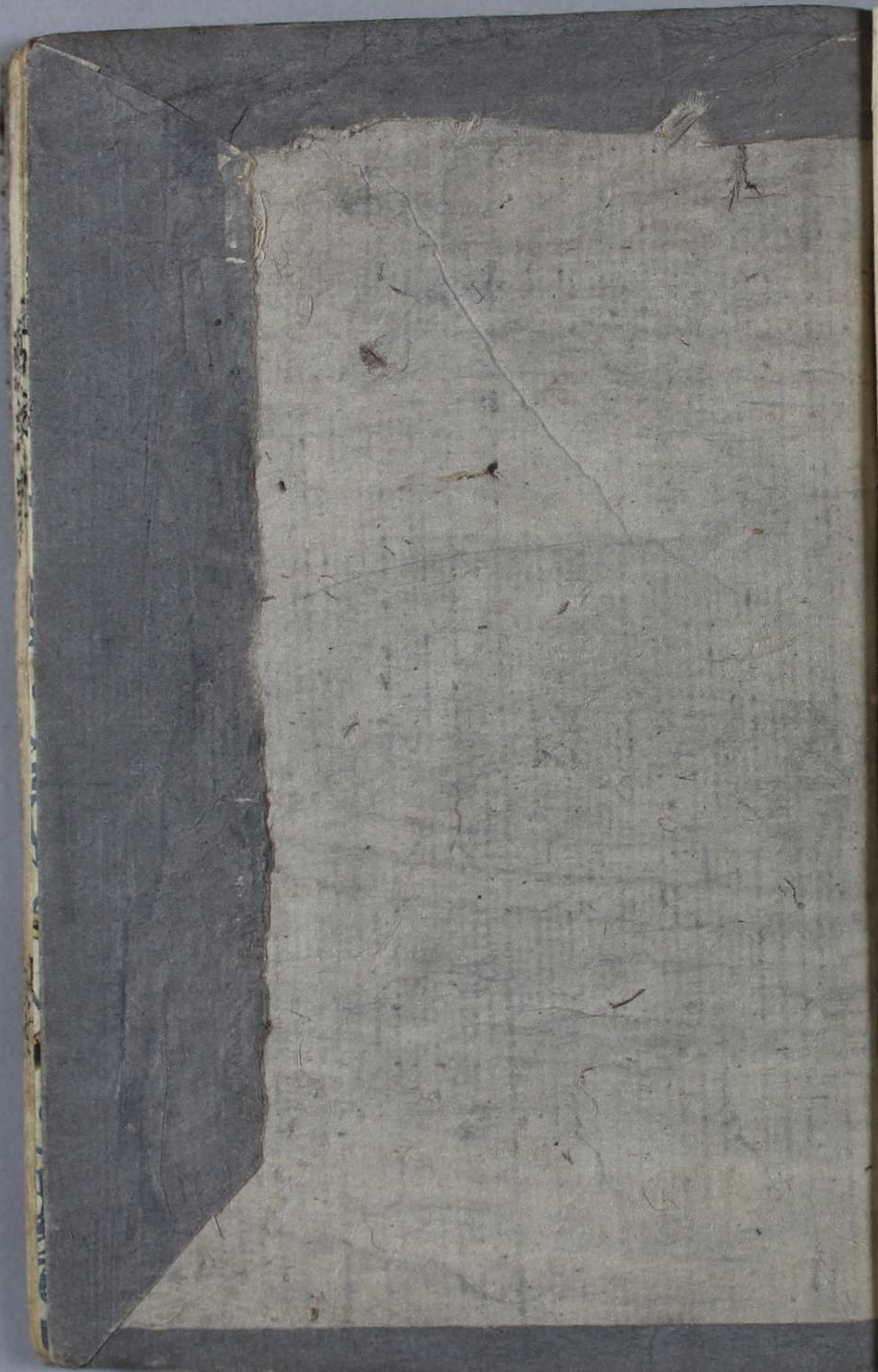








1. The first part of the book is a list of names  
 and places, which are arranged in alphabetical order.  
 The names are written in a cursive hand, and are  
 often followed by a small number or letter, which  
 may be a reference to another part of the book.  
 The places are also written in a cursive hand, and  
 are often followed by a small number or letter, which  
 may be a reference to another part of the book.  
 The list of names and places is followed by a list of  
 dates, which are also written in a cursive hand.  
 The dates are often followed by a small number or  
 letter, which may be a reference to another part of  
 the book.

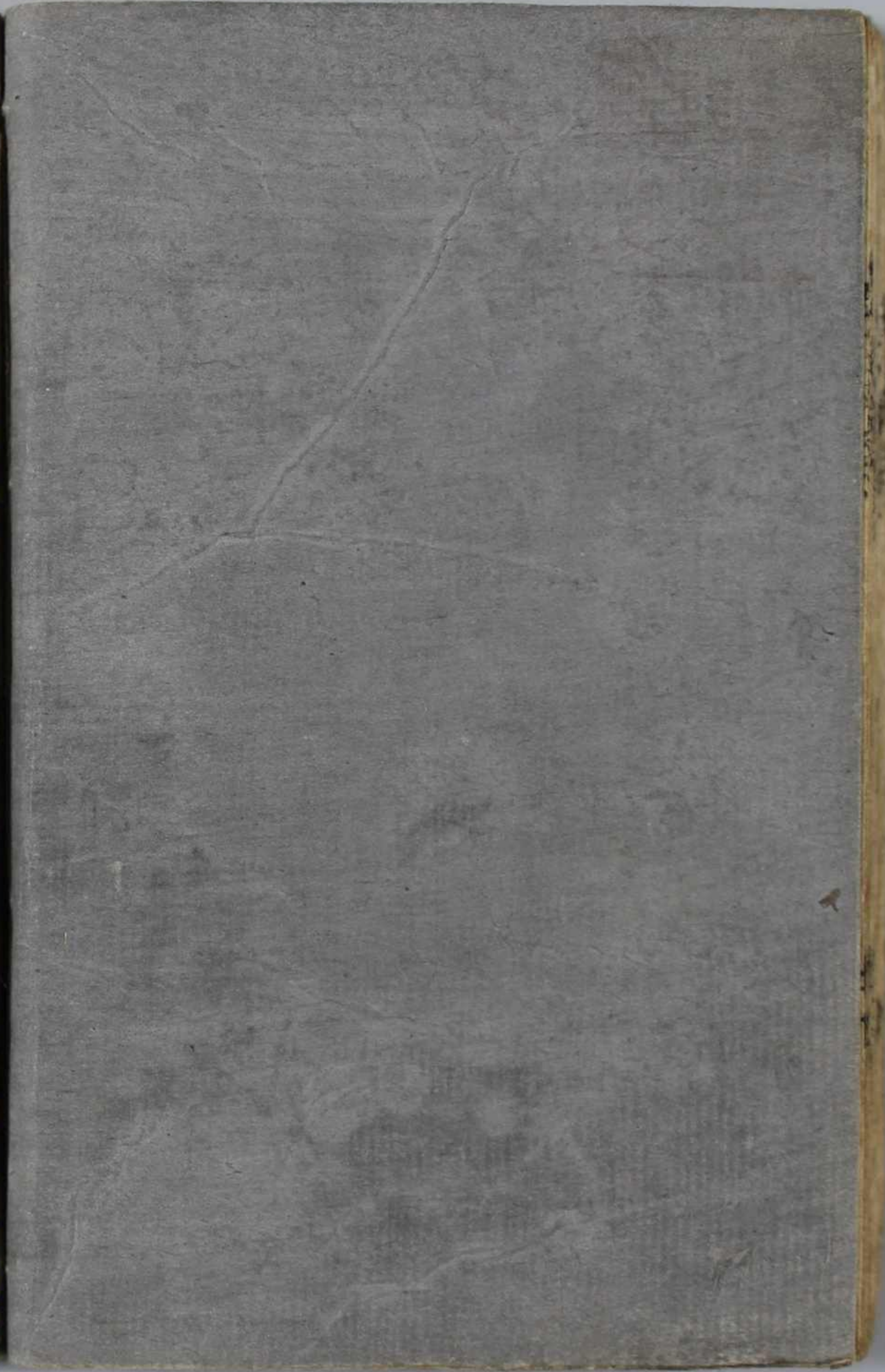






西宮板

下



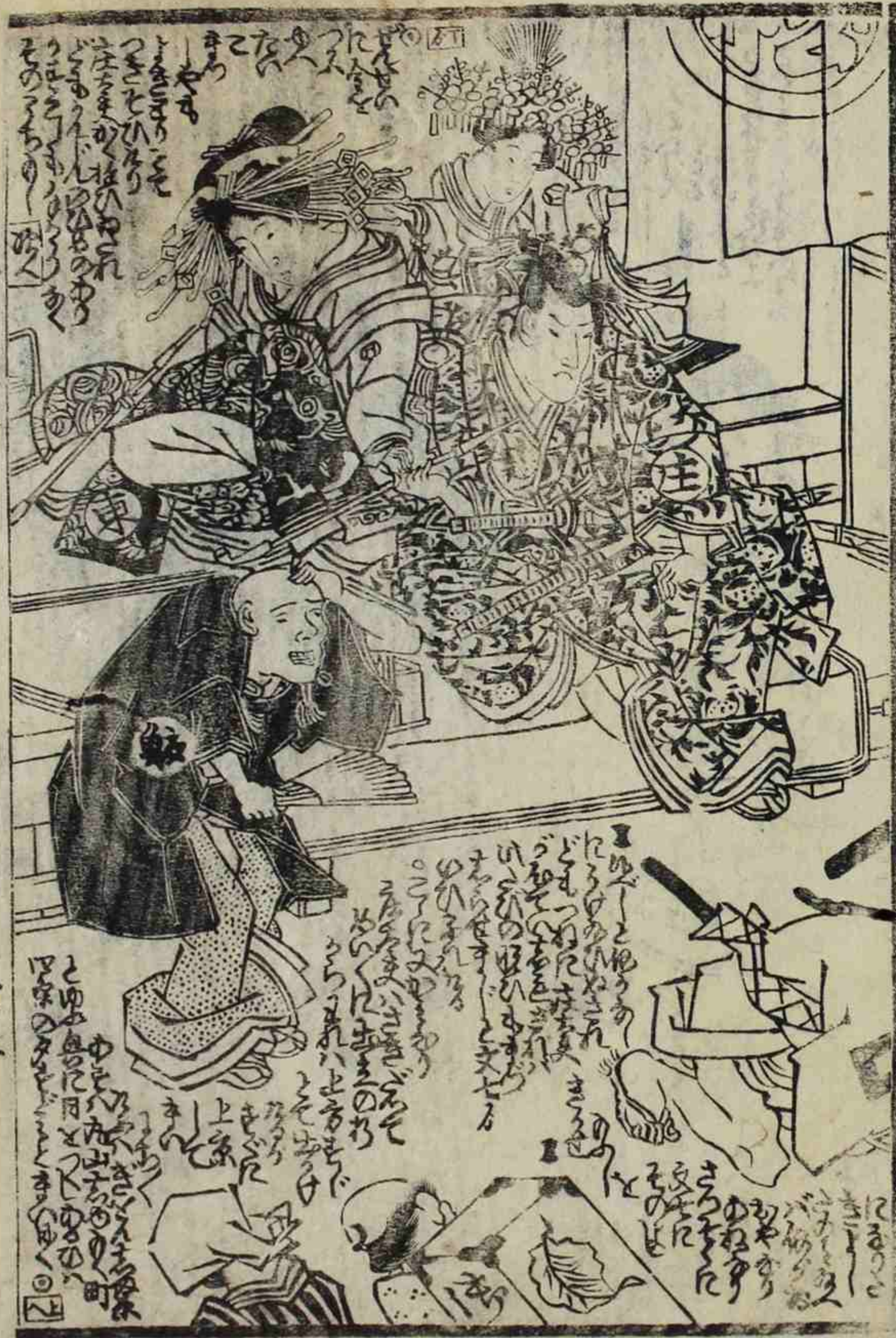












五ノ依屋

十一



五ノ依屋

十一





あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと

たのこ持の女やうなありあつたれハ  
さの女やうなありあつたれハ  
さの女やうなありあつたれハ  
さの女やうなありあつたれハ

あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと

あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと



あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと

あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと

あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと

あつてはなまゝと  
わてはなまゝと  
あつてはなまゝと  
わてはなまゝと

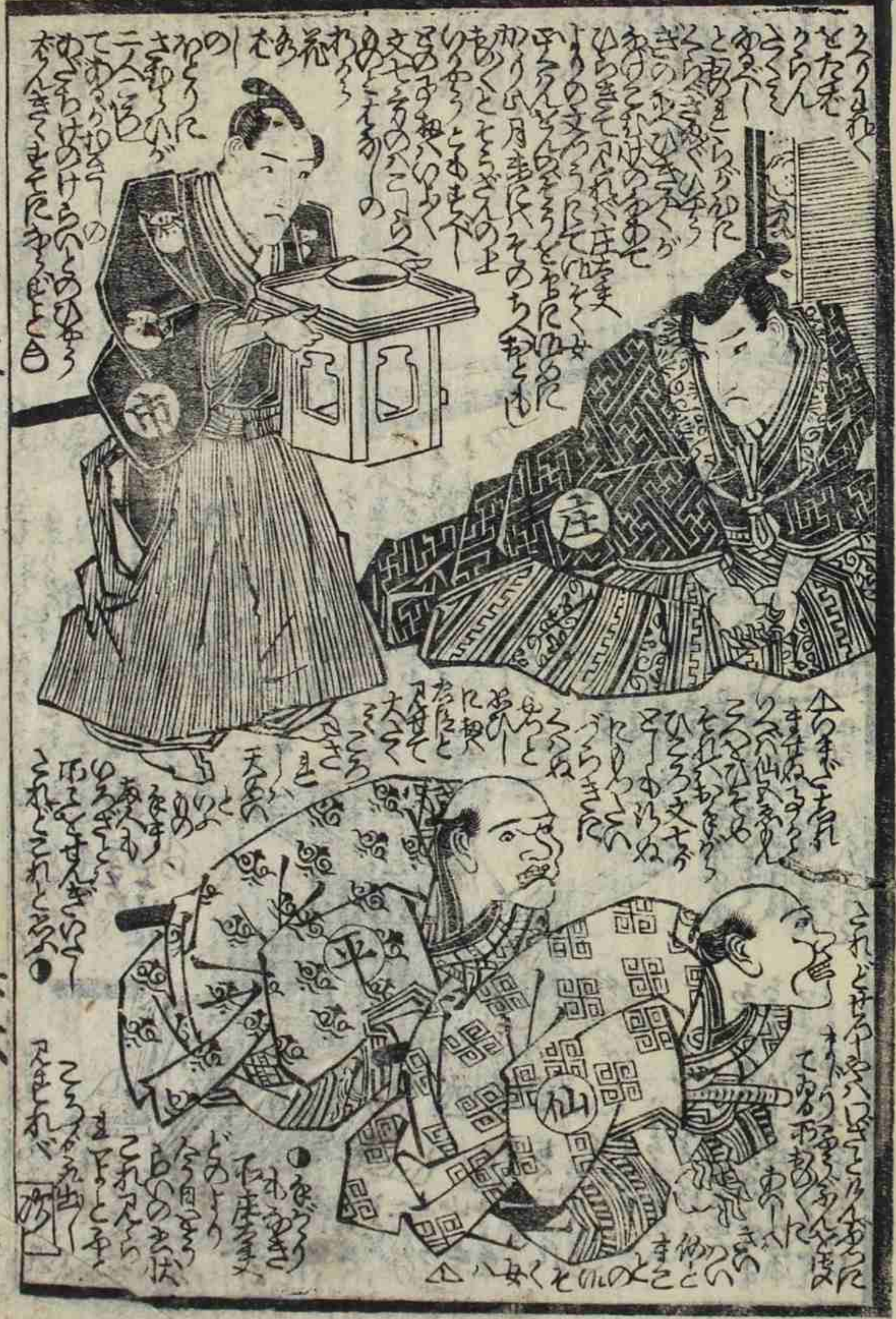












二六

二六



二七

二七



















文政士戊子春新鐫目錄

雲龍九郎偷盜傳 式亭三馬作 輯五渡亭國貞画 二輯北尾重政画

花の井二枚折風爐前屏風 全墨川亭雪齋補助 四小野田理童著述 册少尾重政画

半七雛女夫櫻二再咲 全三馬翰虎之助作 册北尾重政画

雁金文七 留庄大夫 狂言袴五の紋盡 全岩井紫若作 册北尾重政画

美艷仙女香 一色 義大夫 並 地本問屋 西宮新六板 正本

岩井紫若迹



吉例 春典

赤本の  
おそろいさま  
いづれもま  
あでく



仙女香 四十文



招福 迎慶

北尾重政画



五ツの...

三ツの...

浄書美福亭

雲龍九郎

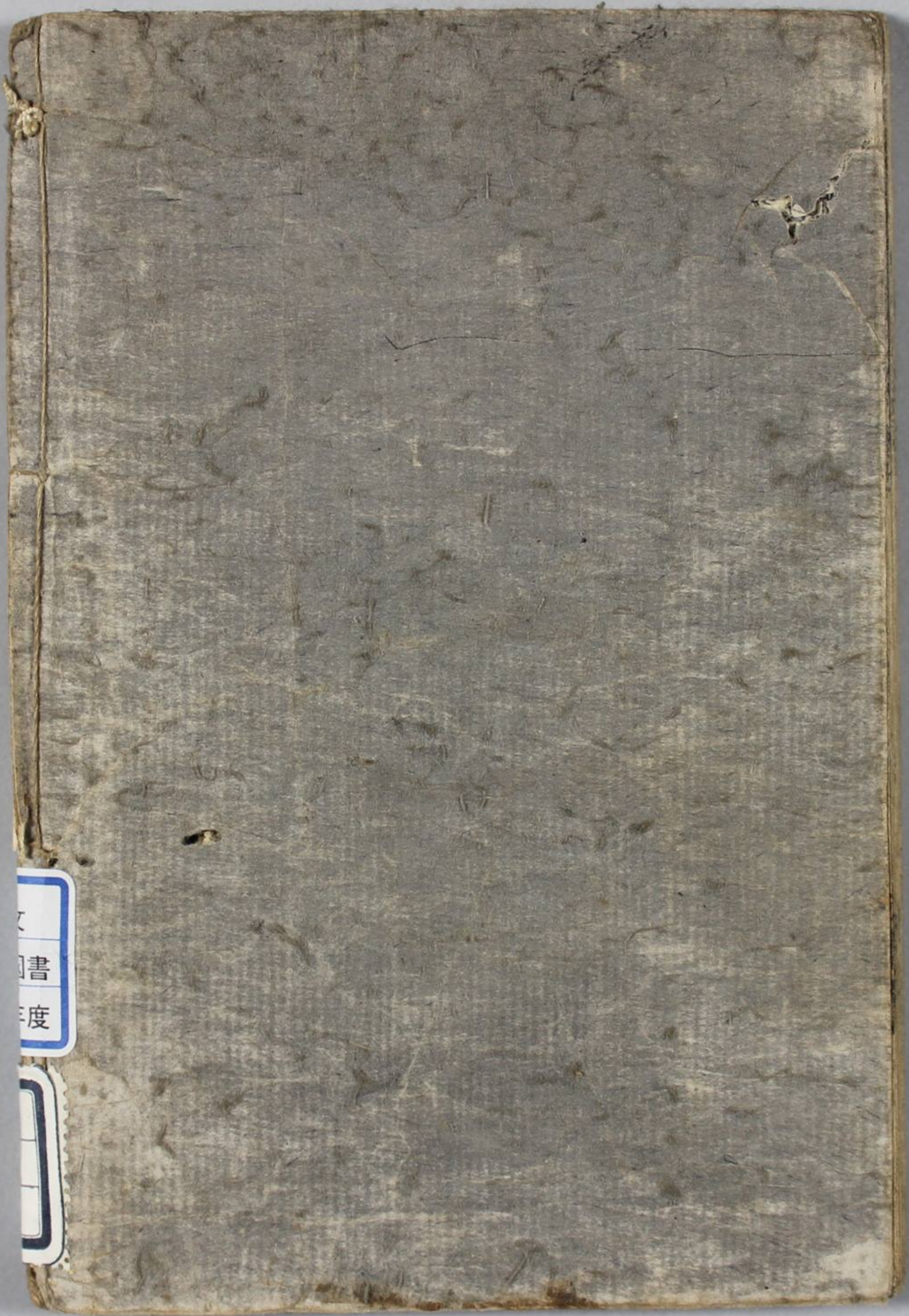
第二編 册

尚子春

賣

板元





文  
書  
度

